

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年10月9日配本 定価4400円(本体4000円+税) 四六判上製・342頁 メアリー・ウォーノック 著/高屋景一 訳 想像力 「最高に高揚した気分にある理性」の思想史 ISBN978-4-588-13031-1 C1010 ★ 哲学的思索を社会問題の探求に適用し、生命倫理や特殊教育に関する発言をおこなってきた哲学者による、先駆的かつ古典的な想像力概念の概説書。ヒュームおよびカントを起点に、ロマン主義を通してウイトゲンシュタイン、サルトル、ライルへと、想像力論の系譜をたどる。同時に、人間の自由を可能にし、良い人生に欠かすことのできない想像力の育成こそが教育の最重要課題と位置づける、刺激的な一冊。 【哲学】 ☆関連書: D.ヒューム『人間本性論』、S.T.コウルリッジ『文学的自叙伝』(以上、小局刊)。	
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年10月15日配本 定価8250円(本体7500円+税) 四六判上製・656頁 ヴィクトーア・フォン・ヴァイツゼカー 著/木村敏、丸橋裕 監訳/橋爪誠、岸見一郎、伊藤均訳 《叢書・ユニベルシタス 1123》 自然と精神／出会いと決断 ある医師の回想 ISBN978-4-588-01123-8 C1311 ★ 近代ヨーロッパの医学と哲学を根源的に批判することを通じて、構築を目指した「医学的人間学」とは何か。その人間学を理論的に根拠づける「ゲシュタルトクライス」とは何か。修業時代のさまざまな出会い、同時代の思想家たちとの人的交流から、彼独自の医療実践がどのように形成されていったのか赤裸々に語られる。二度の世界大戦を生き抜いたドイツの医者哲学者による自伝的告白の書。 【医学・哲学】 ☆関連書: ヴァイツゼカー『ゲシュタルトクライス』、『パトゾフィー』(みすず書房)。	
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年10月21日配本 定価5060円(本体4600円+税) 四六判上製・494頁 恒川邦夫 著 サン＝ジョン・ペルスと中国 『遠征』と〈アジアからの手紙〉 ISBN978-4-588-49038-5 C1098 ★ 1887年仏領グアドループに生まれ、1910年代にはフランス本国の外交官として中国に赴任、長編詩『遠征』が国際的に激賞されるもまもなく詩作を封印し、第二次大戦前にはミュンヘン会談に出席。戦後にノーベル賞を受賞、近代カリブ海文学の父とみなされたこの詩人の生涯はしかし、ある特異な自己神話化に彩られていた。とくに中国時代の手紙や初期詩篇を紹介し、詩人の全容を初めて浮き彫りにする労作。 【文学評論】 ☆関連書: 大辻都『渡りの文学』、中條忍『ポール・クローデルの日本』(以上、小局刊)。	
-------	----	--	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年10月23日配本 定価4950円(本体4500円+税) A5判上製・384頁 マーガレット・ムーア 著/白川俊介 訳 領土の政治理論 ISBN978-4-588-60361-7 C3331 ★ 日本列島は日本人のものなのか。この問いにきちんと答えることは実は難しいのではないか。国家が領土を持つのは当たり前だと思われている。だが、なぜその領土支配は正当だと言えるのか。現在、世界各地で、国境管理や天然資源をめぐる領土や境界線にまつわる問題が頻発している。本書はこうした問題を解決するうえで一つの哲学的な糸口を探求する。領土とは何か、規範理論から問う。 【政治哲学・政治思想】 ☆関連書: 白川俊介『ナショナリズムの力』(勁草書房)、デイヴィッド・ミラー『国際正義とは何か』(風行社)など。	
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年10月23日配本 定価6380円(本体5800円+税) A5判上製・558頁 ミシェル・コンタ 序/生方淳子 著 戦場の哲学 『存在と無』に見るサルトルのレジスタンス ISBN978-4-588-15111-8 C1010 サルトル研究の第一人者ミシェル・コンタは『存在と無』はレジスタンスの書であるという。本書の著者、生方淳子はそこからさらに、サルトルがカントとヘーゲルに挑戦し、フッサールとハイデガーの批判的継承をとおして、新たな自由の哲学を打ち立てようとする思考回路を見出す。自由の必然性を証す意識の現象学が、それ自体として無言のレジスタンスとなるだろう。ここから私たちは何を学ぶのか。 【哲学・思想】 ☆関連書: サルトル『存在と無』(ちくま学芸文庫)、『敗走と捕虜のサルトル』(藤原書店)、澤田直編『サルトル読本』(小局刊)。	
-------	----	---	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2020年11月上旬配本 定価3850円(本体3500円+税) 四六判上製・382頁 石原あえか 著 教養の近代測地学 メフィストのマントをひろげて ISBN978-4-588-35234-8 C1020 ★★ 望遠鏡、地球儀、プラネタリウム、図化機、航空写真、地震計……。宇宙の謎を数学的に解き明かし、地理学や地質学を総動員して地球の姿を把握してきた測地学の歴史。そこには、地図作りに生涯捧げた技術者たち、氷河や火山など未踏の地の探索者たち、崇高な自然に対峙した詩人や科学者の数々のドラマがあった。ゲーテ研究者が250点を超える図版とともに物語る、文理融合、クロスボーダーな快著! 【科学文化史】 ☆関連書: 石原あえか『近代測量史への旅』(小局既刊)に続く、より一般読者向けに書かれた出色の教養書。	
-------	----	---	--

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。